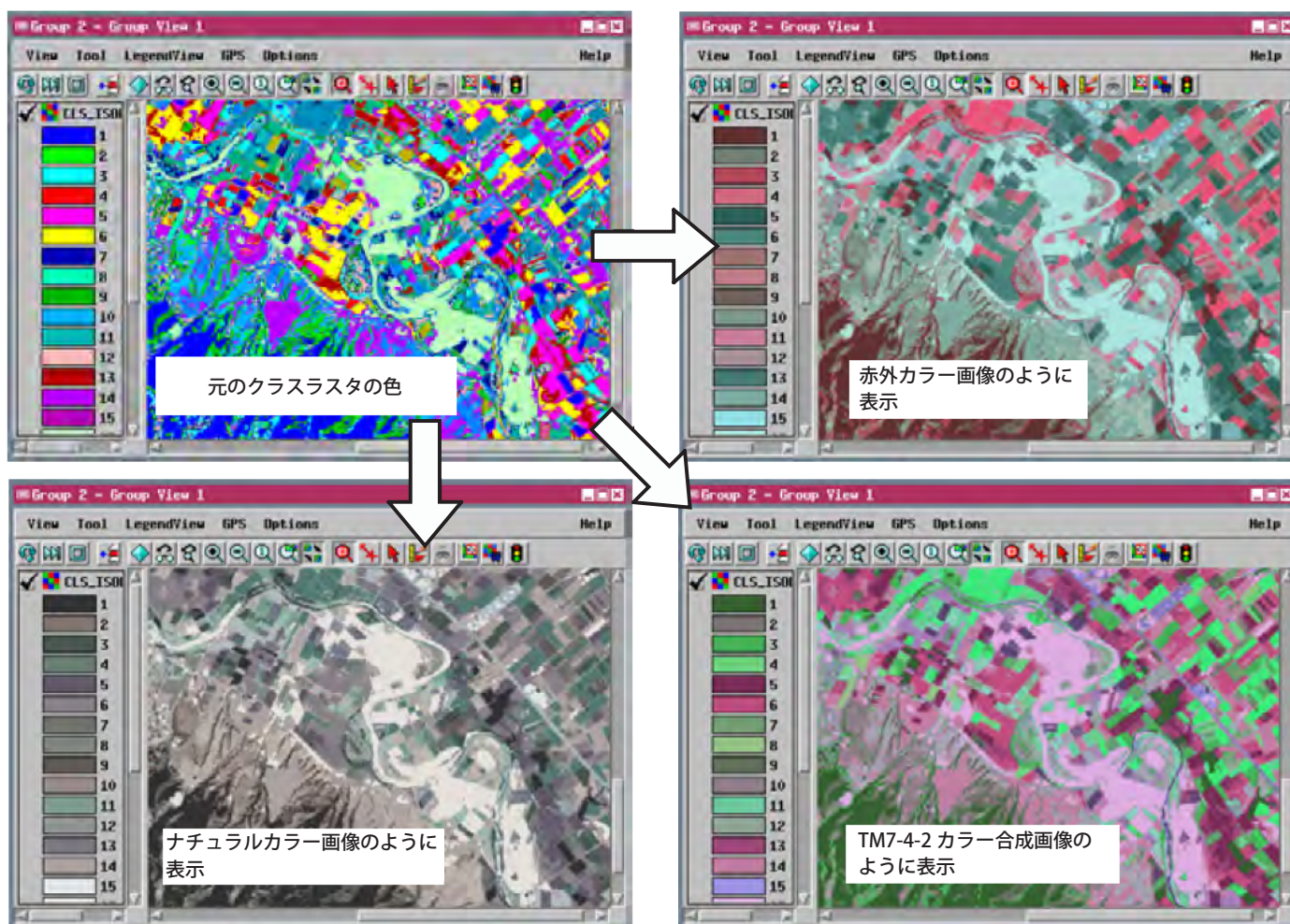


カラーマップの自動作成

ご存知でしたか?... 分類画像をバンド画像の組み合わせのように表示出来ます。

自動でカラーマップを作成することで...

- 自動分類によって作られたクラスカラーを、クラスを判別しやすい色に置き換えることが出来ます。
- 異なる RGB の組み合わせに基づいて、カラーパレットを作成できます。
- 各バンドに対してコントラストの方法を選択できます。
- 「空間データ表示」(V2012では「表示」)や、〈表示〉ウィンドウを利用するその他の処理で利用できます。



カラーマップを自動作成する方法

- 〈表示マネージャ〉ウィンドウでラスタオブジェクトアイコンの上で右クリックして、右マウスボタンメニューから [カラーマップの自動作成 (Auto Color Map)] を選択します。
- カラーを決めるために使うラスタオブジェクトを3つ以上選択します。
- [カラー (Color)] オプションボタンを使って、各カラー構成要素 (赤・緑・青) に利用するバンドを選択します。
- 各クラスのカラーに対する赤、緑、青の値は、そのクラスの中にあるラスタセルの平均値を使って割り当てられます。

さらに知りたいことがあれば...



マイクロイメージのウェブサイトをご覧ください

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
 紀伊国屋ビル 1F
 Tel: (03)3623-2851
 Fax: (03)3623-3025
 E-mail: info@opengis.co.jp